【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成31年1月10日(2019.1.10)

【公開番号】特開2017-172610(P2017-172610A)
【公開日】平成29年9月28日(2017.9.28)
【年通号数】公開・登録公報2017-037
【出願番号】特願2016-56430(P2016-56430)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ　57/04　(2010.01)
Ｆ０１Ｍ　1/06　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　19/06　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　35/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ　57/04　Ｊ
Ｆ０１Ｍ　1/06　Ｌ
Ｆ１６Ｃ　19/06
Ｆ１６Ｃ　35/06　Ｚ
Ｆ１６Ｈ　57/04　Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成30年11月21日(2018.11.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３】
前記側板部は、前記円筒部から半径方向外方に向かって延びる環状の第１の環状部と、前記第１の環状部の半径方向外端から前記軸受に向かって前記回転軸の軸線方向に延びる環状の第２の環状部と、前記第２の環状部の延びる方向の端部から半径方向外方に延び、前記外周縁を含んだ環状の第３の環状部とを備え、
前記変速機ケースは、前記第２の環状部が嵌合され、かつ、前記回転軸の軸線方向において前記第３の環状部に対向する面に面取り部が形成されている環状の第１の内壁面と、前記第３の環状部が嵌合される環状の第２の内壁面とを有し、
前記第１の環状部と前記第２の環状部の連続部分には湾曲面またはテーパ面が形成されており、
前記回転軸の半径方向における前記面取り部の半径方向の内端から半径方向の外端までの寸法をＬ４とし、前記回転軸の半径方向における前記湾曲面または前記テーパ面の半径方向内方の変曲点から半径方向外方の変曲点までの寸法をＬ５とした場合に、
Ｌ４＋Ｌ５＞Ｌ１となるように前記給油部材および前記変速機ケースが形成されており、
前記回転軸の半径方向おける前記第１の内壁面と前記第２の環状部との間の寸法をＬ６とし、前記回転軸の半径方向における前記給油部材の半径方向の外周面と前記第２の内壁面との間の寸法をＬ７とした場合に、
Ｌ６＜Ｌ７となるように前記給油部材および前記変速機ケースが形成されていることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の変速機の給油構造。